

Message 先輩職員たちの声

保健師 成長に寄り添い、子育てを支える

伏見区醍醐支所保健福祉センター子どもはぐくみ室(令和6年度採用)

保健師として妊娠から18歳までの子どもとその家族を対象に、切れ目のない支援を行っています。プレママ・パパ教室や乳幼児健診、赤ちゃん訪問などを通して、一人ひとりの状況に応じた相談対応や助言を行い、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいます。赤ちゃん訪問で出会った子どもが健診に来てくれたり、学校で関わった子どもの成長を見られたりすることは、この仕事ならではの喜びです。個別支援に加え、集団へのアプローチや関係機関との連携も多く、地域全体で子どもと家族を支える役割を担っています。今後も市民の声に丁寧に耳を傾け、相談してよかったと思ってもらえる保健師を目指していきたいです。



保育士

一人ひとりに向き合い、育ちを丁寧に见守る

子ども若者はぐくみ局久世保育所(令和7年度採用)

1歳児クラスの担任として保育に携わっています。子どもたちが安心して過ごせるよう、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、遊びや食事、午睡など日々の生活を丁寧に见守っています。感触遊びでは、氷や寒天、片栗粉などを用い、五感を通して学べる環境づくりに大切にしています。民間園での勤務経験もありますが、京都市の保育所では、室内遊びや園庭遊び、散歩など多様な遊びを積極的に取り入れられる点に魅力を感じています。成長の様子を記録し、保護者と共有することも重要な役割です。今後は計画性を高め、視野を広げ周囲にも気を配れる保育士として、子どもたちの育ちを支えていきたいです。



心理職 専門性を生かし、子どもの心に向き合う

子ども若者はぐくみ局児童福祉センター児童相談所相談支援第一課(令和5年度採用)

児童相談所業務と発達相談業務を担当しています。児童虐待や不登校、行動上の課題など多様な相談に対し、心理検査や行動観察、心理面接を通じて状況を丁寧に整理し、支援方針の検討に関わっています。また、発達に関する相談では検査結果を踏まえ、保護者や関係機関と連携しながら支援につなげています。施設入所中の子どもと定期的に面接を行い、学校や生活の中での前向きな変化を聞いたときには、専門職として関わっていることを実感します。心理職員が多く在籍する職場で、相談や学びを重ねられる環境も大きな支えです。今後も知識と経験を積み重ね、子どもと家族に寄り添う支援を続けていきたいです。



総環境推進員

収集と啓発で支える、快適な生活環境

環境政策局西京まち美化事務所(令和6年度採用)

家庭ごみの収集運搬や、公園・自治会館等での資源物回収を担当しています。あわせて、ごみの分別に関する問合せ対応や、不適正排出への啓発ポスターの作成、児童館などでの環境学習にも取り組んでいます。前職では主に企業向けの営業職として働いていましたが、現職では市民の方の生活を直接支えていること、幅広い世代の方と関われることにやりがいを感じています。特に、ゲーム形式でごみ問題を伝えた環境学習で、子どもたちが楽しみながら理解を深めてくれた姿は印象に残っています。収集業務だけでなく、啓発や学びの場づくりにも携われることがこの仕事の大きな魅力です。今後も知識を深め、より良い生活環境づくりに貢献していきたいです。



職員採用専用HPで「先輩職員の声」を随時更新中！インタビュー動画もぜひ御覧ください！

[詳しくはこちら▶](#)

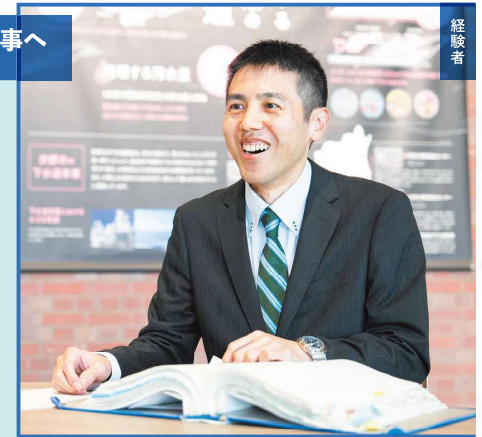


一般事務職 (行政)

経験をいかし、ライフラインを支える仕事へ

上下水道局総務部契約会計課(平成25年度採用)

民間企業で営業職として働いた後、平成25年度に経験者採用で京都市に入庁しました。上下水道局では、広報・経理・防災危機管理など複数の部署を経験し、現在は工事契約を担当しています。上下水道事業は市民生活に欠かせない重要なライフラインであり、その工事を担う業者選定においては、公平性や競争性を確保するだけでなく、確実な履行や地域経済の健全な発展にも目を向ける必要があります。入札参加条件をどのように設定するかを決めることは難しい場合もありますが、事業全体を支えている実感をえられる点に、この仕事のやりがいを感じています。民間企業では売上目標の達成を意識し、仕事を進めていましたが、京都市では広報イベントの企画から決算業務、災害時対応まで幅広い経験ができ、視野が大きく広がりました。今後も市民の重要なライフラインを守るという使命感を持ち、明るく前向きに事業を進めていきたいです。



経験者

経験者

一般技術職 (機械)

民間で培った機械技術を、公共施設にいかす

都市計画局都市企画部都市総務課(平成26年度採用)

民間企業で工業製品の量産開発に携わった後、平成26年度に経験者採用で京都市に入庁しました。現在は、空調や衛生設備が設計図どおりに施工されているかを現場で確認し、不備があれば是正を指示することで、最終的な品質と安全性を確保する業務を担当しています。前職では、自身の設計がどのように使われているのかを直接感じる機会が少なかった一方、京都市では公共施設を利用する市民や職員の顔を思い浮かべながら、機械設備の設計や監理に取り組める点が魅力です。設計段階から関わった学校の新築工事が完成し、生徒や保護者の皆さんが喜ぶ姿を目にしたときには、この仕事の意義を強く実感しました。市役所は堅い組織という印象を持っていましたが、実際には若手や中途入職者の意見も受け入れられ、業務改善の提案がすぐに形になる柔軟さがあります。これまでの経験をいかながら、安心・安全な公共施設づくりに向けて、最新技術の動向や民間の優れた事例を学び、仕事に取り組んでいきたいと思っています。



新規採用職員の配属

一般事務職では、区役所・支所、事業所、本庁事業部門といった、主に市民の方々と接する第一線への配属が基本です。経験者採用試験での採用者については、これまでの職務経験を踏まえ、本庁の管理部門や企画立案部門に配属となる場合があります。一般技術職及び免許・資格職等については、それぞれの専門分野に関連した職場への配属が基本です。

人事異動

様々な職場を経験し、幅広い能力を習得できるように、採用後、数年間で分野の異なる職場に配属され、その後は3年から5年のサイクルで異動を重ねていくことが一般的です。異動に当たっては、職員は、今後従事したい業務や開発したい能力などを申告し、その内容を基に所属長と面談を行います。これを踏まえつつ、各個人の能力開発の促進や業務遂行上の諸課題の解決、一層の適材適所の人事配置の実現などを図るため、異動が行われます。また、主体的なキャリア形成を支援するため、庁内公募、庁内F A、スペシャリスト(専門家)養成コース、地震等の被災自治体に対する人的支援のための職員派遣など、特定の業務について積極的に希望する職員を配置する制度もあります。

配属・異動